

# 1. 令和2年7月～9月期の景気動向

今期のDI平均値は△61ポイントで、卸売業では27ポイント、建設業では24ポイント、製造業、サービス業では12ポイントのプラスとなった。前期4～6月期の△74.2ポイントから13.2ポイントの改善が見られたが依然として全業種において厳しい状況が続いている。

業種 項目		建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業	
		7～9	10～12	7～9	10～12	7～9	10～12	7～9	10～12	7～9	10～12
		今期状況	見通し	今期状況	見通し	今期状況	見通し	今期状況	見通し	今期状況	見通し
売上高		△ 67 (△ 50) 	△ 34 (△ 75) 	△ 62 (△ 85) 	△ 66 (△ 92) 	△ 78 (△ 22) 	△ 78 (△ 22) 	△ 84 (△ 72) 	△ 65 (△ 69) 	△ 82 (△ 88) 	△ 82 (△ 83) 
採算		△ 33 (△ 38) 	△ 40 (△ 62) 	△ 44 (△ 74) 	△ 52 (△ 75) 	△ 78 (11) 	△ 78 (11) 	△ 65 (△ 57) 	△ 50 (△ 60) 	△ 67 (△ 82) 	△ 55 (△ 76) 
資金繰り		△ 5 (△ 25) 	△ 26 (△ 50) 	△ 32 (△ 48) 	△ 32 (△ 58) 	△ 22 (0) 	△ 33 (22) 	△ 59 (△ 55) 	△ 48 (△ 52) 	△ 56 (△ 65) 	△ 61 (△ 62) 
業況		△ 26 (△ 50) 	△ 46 (△ 75) 	△ 62 (△ 75) 	△ 64 (△ 85) 	△ 62 (△ 89) 	△ 78 (22) 	△ 79 (△ 69) 	△ 56 (△ 70) 	△ 76 (△ 88) 	△ 67 (△ 76) 
経営上の 当面する 問題点	1位	民間需要の停滞		需要の停滞		需要の停滞		需要の停滞		利用者ニーズの変化への対応	
	2位	官公需要の停滞		製品ニーズの変化への対応		その他		消費者ニーズの変化への対応		需要の停滞	
	3位	熟練技術者の確保難		熟練技術者の確保難		商品在庫の過剰		その他		材料等仕入単価の上昇	
業種別 コメント		<p>新型コロナウイルス感染症の拡大による需要の冷え込みが本格化してきている。特に民間需要は大きく冷え込むことが予想される。</p> <p>また、人手不足による人材確保難などもあり、来期見通しも厳しい状況が続くとみられる。</p>		<p>前期と比較すると全項目で回復傾向にあるが、依然として厳しい状況には変わりが無い。</p> <p>多くの下請け企業において需要の停滞が続いており、長期化が予想される。</p> <p>来期以降の事業存続に向け、積極的な営業活動や資金繰り対策が必要である。</p>		<p>自粛ムードが緩和されてきたこともあり、今期業況は27ポイント回復した。</p> <p>しかし、今後も取引先企業の業況悪化は続くことが予想され、来期見通しはマイナス100ポイントと大幅な悪化となった。</p>		<p>新型コロナウイルス感染症の拡大により自宅で過ごす時間が増え、通販サイトの利用者が急増していることなどもあり、業況は10ポイントのマイナスとなった。</p> <p>来期見通しは、8月に市、商工会議所が発行したプレミアム商品券の利用見込みなどもあり、14ポイントのプラスとなっている。</p>		<p>緊急事態宣言解除後も続いていた自粛ムードは徐々に緩和されてきている。テイクアウトメニューの販売が好調な飲食店もあり、全体では12ポイントのプラスとなった。</p> <p>しかし、割烹や料亭など宴会をメインとしている比較的規模の大きい飲食店は厳しい状況が続いている。</p>	



※当所では分析にあたってD・I(好転したとする企業割合から悪化したとする企業割合を差し引いた値)を採用しました。

※( )は前回調査時のD・I値